

KISC

財団法人 かがしま産業支援センター

創業や経営革新に
取り組むあなたを応援します。

CONTENTS

- 02 この人に聞く!!
- 03 平成21年度予算概要
(鹿児島県産業立地課)
- 04 特集 専門家派遣事業
- 06 第13回安藤百福賞受賞
- 07 女性経営者登場!
- 08 実践! IT活用
- 10 研究開発の現場
- 11 食の安心・安全の確保について (第6回)
- 12 活用ください! 鹿児島県人材育成センター
- 13 中小企業活性化サポート事業が始まりました!
- 14 『かがしま産業おこし挑戦事業』応募者募集
- 15 受発注情報
- 16 上野原ビジネスプラザ・インキュベーター利用の御案内
「かがしま企業情報」への掲載の御案内
センターホームページ「KISCネット21」の御案内

4月号

April 2009



日本銀行鹿児島支店長 市川 能英

この人に聞く!

景気の谷は飛躍のチャンス

現在、景気は全国的に厳しい後退局面にある。日本銀行でも「景気は、大幅に悪化しており、当面悪化を続ける可能性が高い」（3月18日金融政策決定会合）との見方をしている。これは、これまで日本の景気を牽引してきた自動車や電機に

代表される輸出型大企業が、金融危機に端を発した世界的な景気後退の中で業績を悪化させ、厳しい生産調整の影響が経済全体に波及し、消費者マインドの悪化等から個人消費も弱めたためである。09年度の経済成長率は、個人消費の悪化がより鮮明化することなどから08年度よりもさらに厳しいマイナス成長になる可能性が高い。

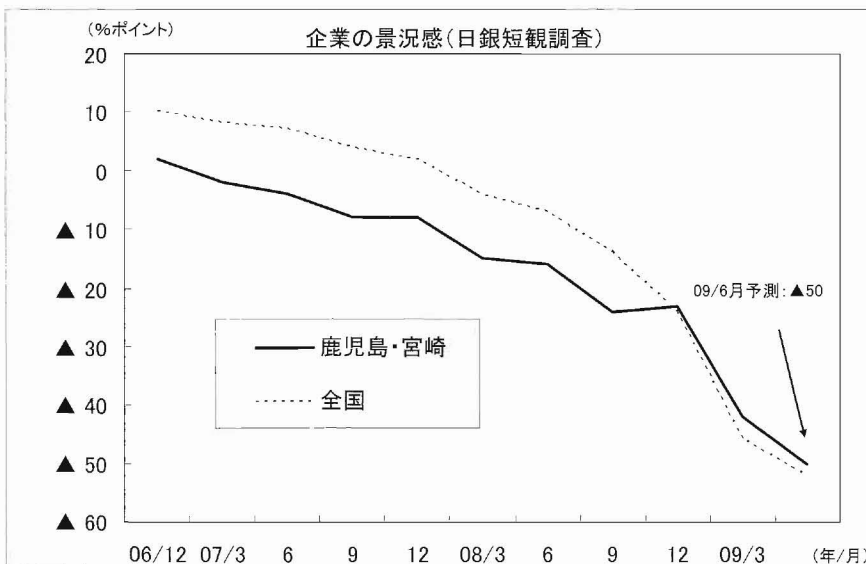
こうしたなかで、鹿児島県経済は、全国と同様に景気の後退局面に入ってきたものの、その後退スピードはこれまでのところ全国に比べて緩やかであった（図表）。この背景には、（1）もともと当地経済は輸出関連産業が少なく世界経済全体の急激な悪化の影響を受けにくいこと、

（2）昨年中は「篤姫」ブームが当地経済にはかなりの需要創出効果をもたらし景気を一時的に下支えしてきたこと、などが挙げられる。しかし、当地経済でも、そろそろ全国と同様に厳しい景気後退局面入りが迫ってきた。これまで景気を下支えしてきた「篤姫」等の効果が剥落し、当地経済への波及が大きい全国の個人消費の悪化がより鮮明化してくる可能性が高いためである。実際に3月の日銀短観調査でも、当地の企業経営者の景況感急激に悪化した。

この景気悪化は、全国と同様、当面続くとみられる。しかし、景気は必ず循環する。過去回復しなかったことは一度もない。09年度中の捗捗しい回復は難しいかもしれないが、10年度には反転する可能性が高いと思われる。

経済が活力をもって成長していくためには、これからしばらくの景気の谷の時期は、非常に重要な意味を持っている。景気の後退期は、企業にとっては経営合理化のための厳しい努力を求められる時期ではあるが、同時にそれまでの景気拡大の中で蓄積されてきた歪み（緩み）、解決を先送りしてきた課題に対応し、次なる飛躍のために自らをスクラップアンドビルドして、変化に対応していく絶好のチャンスでもある。

現在は、多様で目まぐるしく時代が変化し、全体の動きを把握することが難しい時代である。



こうした時代の対応には、①変化に敏感に対応して時代に後れずに新しい価値を生み出していくか、②既存のものでもその組み合わせによって新しい価値を創造するか、③時代が流れても価値の変わらない本物を創造していくか、といった対応が考えられる。今こそ、それぞれが自らの長所に着目し、来るべき新しい時代に向けた努力が必要になっている。それを地元や関係者が協力・協調して支え育ていくことが大切だと思う。

鹿児島県平成21年度当初予算の概要

- ◆ 「3つの挑戦」と新たな時代への「3つの課題」に取り組みつつ、県政刷新を踏まえた行財政構造改革の着実な進展を図ります。

3つの挑戦

持続可能性

産業おこし

鹿児島おこし

3つの課題

環境

食料

医療・福祉

平成21年度当初予算 772,636百万円 [対前年度当初比 +0.1%]

安心・活力・改革継続予算

- ① オープンな県政の展開と持続可能な行財政構造の構築
- ② 生涯を通じて安心して暮らせる社会づくり
- ③ 安心・安全な社会の形成と県土づくり
- ④ 人と自然が調和する地球にやさしい社会づくり
- ⑤ 新時代に対応した戦略的な産業おこし
- ⑥ 誰もがいきいきと活躍できる雇用環境づくり
- ⑦ 快適で活力ある生活空間の形成
- ⑧ 農山漁村の活性化と奄美・離島の振興
- ⑨ 共生・協働による温もりのある地域社会づくり
- ⑩ 教育の再生と文化・スポーツの振興

新時代に対応した戦略的な産業おこし（商工業関係）

- ◇ 将来的に成長が見込まれるアジア経済の発展に対応する重点業種の振興や地域性を生かした新たな産業の創出を図りながら、活力ある地域経済を構築します。

(1) かがしま産業おこしフェア2009開催事業 38,000千円

県内の中小企業などが製造した製品や特産品、農林水産物などを一堂に集めた「かがしま産業おこしフェア2009」を開催し、本県の商工業や特産品をPRするとともに、商談会や就職相談会などを行い、本県産業に活力をもたらす契機とします。

開催日 11月13日(金)～15日(日)

場所 鹿児島市(鴨池ドーム、市町村自治会館)

(2) 中小企業融資制度の拡充 249,841千円

現下の厳しい経済状況を踏まえ、350億円の融資枠を確保するとともに、重点3分野への参入等を目指す中小企業者をさらに支援するため、「かがしま産業おこし資金」を創設します。

(3) 中小企業経営革新支援事業 16,641千円

経営革新を目指す中小企業を積極的に支援するため、経営革新計画の承認等を行うとともに、地域への波及効果が高い取組に対して助成します。

補助対象経費 新商品・新技術開発、販路拡大

補助率 3分の2以内

補助限度額 300万円

(4) ものづくり重点業種支援事業 19,959千円

重点業種分野(自動車・電子・食品関連)の振興を図るため、企業の行う研究開発、人材育成、販路拡大等の取組を一体的に支援します。

企業が行う研究開発に対する支援

企業に対する研修受講経費の助成

研究会活動に対する支援 等

経営者のための専門家派遣事業活用術

～ 専門家を派遣します。あなたの会社の経営改革をサポート ～

事例紹介
トヨタ生産方式による

生産管理 Ⅱ



株式会社 鹿児島北斗製作所

代表取締役 稲村 昭人 氏

<企業概要>

所在地：鹿児島市有屋田町208番地

創業：昭和44年9月

資本金：1,000万円

従業員数：19名

業種：プラスチック部品製造業
及び金型製造業

■ 当センターでは、経営者の皆さんが抱えている、経営・技術・人材・情報化などのさまざまな問題を解決するために、「専門家派遣事業」を実施しています。

■ この「専門家派遣事業」では、当センターに登録している民間の専門家を複数回派遣して、専門的見地からアドバイスを行いますので、継続して問題解決に取り組むことが可能となります。

■ 今回は、「専門家派遣事業」を活用することで、生産管理の手法を学びながら、社員の意識改革や組織体制づくり等を行い、経営改善に取り組んだ事例を紹介します。

■ 経営者の皆さん！「専門家派遣事業」を活用することで、経営改革を実現しましょう！

○「専門家派遣事業」を利用したきっかけは

当社では、導光板や自動車等のプラスチック部品の射出成形を行っておりますが、以前から不良率の改善や金型交換・色変え等にかかる時間を短縮し、コスト削減を図りたいと考えていました。その手段として、トヨタ生産方式による改善活動に興味を持っていましたが、自社では具体的な取組方法が分からなかったため、かごしま産業支援センターに相談したところ、外部の専門家による指導を勧められ、この事業を紹介いただきました。

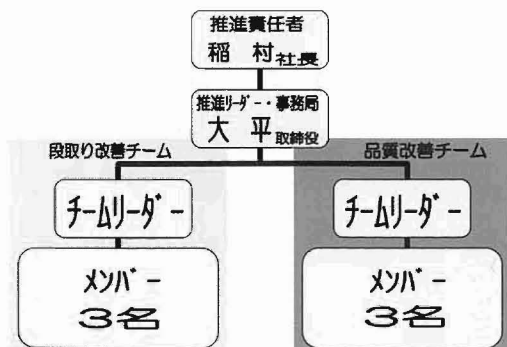
○具体的にどのような指導を受けましたか

株式会社トヨタ車体研究所に所属されている専門家の派遣を受け、熱心な指導を受けました。

指導にあたっては、まず品質改善（不良低減）チームと段取り改善チームに分かれて指導を受けました。

なお、専門家の指導日には私も東京から欠かさず参加しチームと一緒に活動に取組みました。

㈱鹿児島北斗改善チーム組織図



鹿児島北斗製作所

【主な指導内容】

- ①各工程を廻っての工程診断
- ②モノと情報の流れ図作成から鹿児島北斗が抱える問題のまとめ
- ③トヨタ生産方式の基本的な考え方及び標準作業と段取り改善の攻め方の教育
- ④原材料生産性・設備生産性・労働生産性の実態把握
- ⑤2Sの徹底と在庫低減に向けた対策活動
- ⑥段取り時間の実態把握と改善
- ⑦不良の実態把握と分析から真因追求及びその対策
- ⑧生産改善優良企業の訪問

○指導を受けた後、具体的にどのような効果がありましたか

今回の指導により、整理・整頓が徹底され、工場内の雰囲気が目に見えて変わりつつあります。在庫も大幅に削減でき、収益性の向上にもつながっています。

また、作業要領書の作成により、みんなが同じ手順で作業をするということが習慣になってきたうえ、社員全員が、段取り時間の短縮を意識し始めたことも大きな効果です。

○目的・目標の達成度とその評価は

不良率や段取り時間の低減に関して、一定の目的を達成できたと思います。

- ①モノづくりの基本である整理・整頓を全社的に展開でき、完成品在庫・原材料在庫を60%低減できた。
- ②段取り改善活動の結果、段取り時間を半分に低減できた。
- ③製品の総不良率については、2%低減できた。(ただし、まだまだ今後の課題)

○指導を受けた感想は

このような指導は初めてのことでしたので、当初は不安もありましたが、分かりやすく指導していただき、非常に価値ある経験をさせていただきました。

ただ、当社にとって初めての改善活動でしたので、戸惑いがありなかなか自主活動が進まない部分もあったことが反省点です。

まだ活動を始めて1年目ですので、まだまだ習得できていないこともたくさんありますが、活動を通して自分達のモノにした生産性向上の考え方・改善の進め方・QC的モノの考え方を、今後とも継続させ改善活動を進めていきたいと考えています。



<改善活動発表会の様子>



☆今回アドバイスをいただいた専門家☆
小濱 実さん
(株式会社 トヨタ車体研究所)

■ 専門家派遣事業の御案内

【対象要件】

- ・創業又は経営革新等を行い、経営の向上を目指す意欲のある中小企業者
- ・創業又は経営革新等経営の向上についての目標が明確であること
- ・専門家の派遣により、支援の効果が期待できること

【費用の負担】

- ・専門家派遣に必要な経費（謝金・旅費）の2/3以内の額を当センターで負担いたします。

【派遣企業の決定等】

- ・ISOの認証取得等を目的とするものは対象外とします。
- ・上記要件に照らして審査のうえ派遣企業を決定します。

■ 問合せ先■

財団法人かごしま産業支援センター 新産業育成課経営支援室

TEL : 099-219-1273 FAX : 099-219-1279 E-mail : keiei@po.kric.or.jp

賞 受 賞 員 奨 励 見 聞 報 報 報 報 報

日本初のさつまいも 澱粉麺の開発

野口 愛子
日本有機株式会社
代表取締役

日本有機株式会社は昭和52年に有機肥料の製造販売を行う会社として設立されました。平成4年から鹿児島大学との共同研究による農業関係の素材開発などに着手し、平成8年には同大学から「薩摩鴨」の技術移転を受け、平成9年からヒナの全国販売を開始し鴨肉の販売も始めました。

平成16年に鹿児島県農産物加工指導センターにサツマイモか



＜授賞される野口社長＞



＜さつまいも冷麺＞

ら作る澱粉麺の技術シーズがあることを知り、同社が既に商品化していた鴨ガラスープを活用する澱粉麺の商品化研究を開始しました。

基礎研究データはありましたが、澱粉はくつきやすく溶けやすいという性質があるため、これを克服し安定して澱粉麺を生産するための装置開発も並行して行うという大きな苦労が伴いました。

また、澱粉麺と鴨ガラスープとをいかに調和させるか、試作と試食を繰り返しました。

苦勞の結果、平成17年に「日本初のさつまいも澱粉麺」(商品名・さつまいも冷麺)として市場に送り出すことに成功

しました。

今回の受賞は鹿児島県の特産品であるさつまいもから採れる澱粉を活用して「さつまいも冷麺」等のさつまいも澱粉麺を産官協力の下で開発し商品化したことと、その卓越したベンチャー精神が評価されたものです。

《受賞者 慶びの声》

今回、図らずも栄誉ある安藤百福賞の発明発見奨励賞をいただき感激しております。

3月11日、東京のホテルニューオータニで授賞式がありました。授賞式では石破茂農林水産大臣の祝辞があり、晩餐会には河村建夫内閣官房長官を始め錚々たる方々が列席され、その前での「喜びの声」のスピーチはとても緊張いたしました。

この受賞を励みにこれからも地域資源を活用した安全・安心・機能性の食品開発に取り組み、「さつまいも冷麺」を通じて鹿児島県産さつまいもの消費拡大と地場産業の振興に微力ながら貢献してまいりたいと思っております。

今回の受賞に際し、関係機関の皆様の方ならぬ御指導・御協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

安藤百福賞とは・・・

インスタントラーメンの元祖故安藤百福氏(日清食品株式会社創業者)の提唱により創設された「食創会」が、新しい食品の開発に貢献する独自のな基礎研究、食品開発、およびベンチャーを対象として、毎年「安藤百福賞」として表彰しているもので、今回は6件7名が表彰されました。

安藤百福賞の詳細はこちらから
http://www.ando-zaidan.jp/html/syoku_02.html



〒899-8604
曾於市末吉町諏訪方4122
TEL 0986-76-1091
FAX 0986-76-6554
URL : //www.e-kamo.co.jp/
E-mail : joc@e-kamo.co.jp
日本有機株式会社
代表取締役 野口愛子

女性経営者登場!

の要望が多く寄せられ、発想もしなかった化粧品の世界へと後押しされることになりました。

真実からなる飛躍

●新しい見方

同じ物に対しても様々な見解があるもので、弊社が洗顔料に配合する火山灰白土も同様。

創業時は特産品催事場でエコクレンザーとして販売していましたが、御愛用くださる女性の方々が「台所で使っていたら手が白く綺麗になったので洗顔に使っている」とか、「洗顔に使いたい」と



<天元製品の原料となるシラス山>

●娘後継者の試練

お客様の御要望にお応えする形で完成した洗顔料は催事販売限定品として好評を得、洗顔料の販売委託を希望する会社が現れOEMの形で売上を順調に伸ばしました。

しかし、新社屋完成直後父が病に倒れ、娘である私が先頭に立たなければならなくなった途端に、自社販売禁止と下請業者への移行と品質を下げての値下を要求され、結果弊社は売上の80%を失い会社存続の危機に置かれました。

●製造会社へのこだわり

特産品として認められた洗顔料の品質を下げることは避け、逆にコスメとしても認めていただける品質に向上させることで販路拡大を図ろうと、女性の繊細な肌に更に優しく、美を追求できる使いやすい品質の探究を行った結果、白土形状に弾力性を持たせ、転がりやすく効果を最大限に発揮できる粒子を見出し、鹿児島工業技術セ



<天元の製品ラインナップ>

ンターや鹿児島大学にも御協力をいただき、体感の事実要因を明確に提示できる資料も完成させました。

その製法は特許になり、大手エステサロンや美容業界からも信頼を得、昨年は鹿児島県貿易協会の企画によって海外進出も実現し売上は倍増。更に2種類の洗顔料が2009年モンドセレクションの金賞を受賞しました。

●外部の目線で整理整頓

品質に拘る弊社の販路拡大は「卸価格」が問題となり、なかなか取引には繋がりませんでした。そんな折、商工会OB派遣支援という外部からの見解による指導によって、製造から出荷までのラインを見直した結果、経理や営業管

理までもがスムーズに行えるようになり、安定した取引価格設定が可能となり、実演販売でお世話になっていた百貨店への常設を皮切りに取引会社も増え、現在は今後の売上と製造増量を予測し、IT管理システムの構築を開始しました。今後も品質に拘り、誠意で取引と管理を行い、コツコツと鹿児島の資財魅力を広めたいと思います。

<筆者プロフィール>

株式会社 天元
代表取締役社長 又野佳洋子

〒899-5431
鹿児島県始良郡始良町船津1595-2
Tel 0995-64-5123
Fax 0995-67-8822
★火山灰白土洗顔料のパイオニア
<http://www.kingokingo.co.jp/>



実践！ネット活用

財部からの

ネット通販奮戦記

(実況中継！第一回)

『インターネットで商売を始めたいけれども、なかなか売上が伸びなくて困っている』という方が多くいらっしゃると思います。そういった方々のお力になればという気持ちで数回にわたり連載いたします。

0. はじめに

この企業との最初の出会いは、平成20年11月に開催された「平成20年度 電子商取引見直実践研修(主催：財団法人かごしま産業支援センター、九州IT経営応援隊)です。私どものNPOがセミナー講師として研修を行った際に、受講者の中の一々としてお会いしました。

以降、前述研修の個別指導を平成21年1月～3月まで行いました。

経営者の皆様もインターネットショップへの取組みはたいへん参考になるはずであり、数回にわたって連載し

ていきます。成功事例といった結果のまとめではなく、現在進行中の事業を報告していきます。売上がどんどん伸びていくか、皆さん、乞うご期待といったところでしようか。

1. 建築資材製造販売からインターネットショップへの進出

まず、この企業の紹介をさせていただきます。鹿児島県曾於市財部町にある「椿油工房紅屋(代表者：徳重尚盛さん)」です。紅屋は「べにや」と読みます。徳重さんは元来、建築資材製造販売業(主として、コンクリートブロック)を営んでおられます。好景気の時代には従業員も10数名を数えた時代もあったそうです。しかしながら、不況の影響もあり、少人数での事業に縮小している状況です。

★事例企業紹介★

企業名：椿油工房紅屋

(代表者：徳重 尚盛)

所在地：鹿児島県曾於市

財部町

南俣360

取扱商品：椿油商品

課題

①インターネット販売における具体的方策

②異業種への本格進出による事業変革 など

ホームページ：

<http://www.beniya-tsubakioil.co.jp/>

そういった中で、椿油のインターネット販売を開始されました。実は、徳重さんのおばあさんの頃から近所の椿の実を精製して椿油を作っておられたそうです。徳重さんも建築資材の製造販売の傍ら、おばあさんが築き上げた純粋な椿油製造・販売に携わっておられました。おばあさんが亡くなって15年近く経った今でも、多くの方々から近所はもちろん、遠方からも訪れては椿油を買いにくるそうです。その「おばあちゃんの昔ながらのノウハウ」をもとに、全国で売れるようにインターネット通販を始められました。

2. 取扱商品

商品は、「ノーマルタイプ」と「リファインメントタイプ」の二種類。「ノーマルタイプ」は従来おばあさんが作っていた製法で、「リファインメントタイプ」は、

さらに精製に精製を重ねて活性炭フィルターでろ過したものです。

使い方もいろいろあるようで、男性から見れば、椿油はお相撲さんが髷(まげ)を結う、いわゆる鬢付け油のイメージですが、女性の方はヘアケア・スキンケアそれぞれの人々のアイディアでいろんな使い方があろうです。

3. コンテンツ作成

紅屋さんのホームページが開設したのは平成20年7月です。また半年しかホームページを開設してからは経過していません。まだ、アクセス数も少ない状況であり、これから本格的に運営していくという状況です。

ホームページ作成は、建設資材製造販売の仕事のかたわら一人で制作されました。やはり、夜間や休日自宅で作成するのは大変だったようで、会社の事務所で徹夜に近いこと



椿油工房紅屋 代表者 徳重 尚盛さん



椿油工房紅屋の商品「優つばき」

も何回かあったとか。ホームページは、「ホームページビルダ」にて作成しています。

でも、実際にホームページを見ていただければおわかりと思いますが、とても素人が一人で作ったものとは思えないほどのデザインです。少し専門用語になりますが、スタイルシートを駆使したスマートな画面になっています。そのため、ホームページを作成するにあたっては、いろいろな勉強会への参加をしてスキルを磨いたとのこと。更新のみならず、運営についても、実際に一人で行っています。

4. 販売方針

次に販売方針です。ネット広告やその他メディアでの広告宣伝も検討されました。実際に某雑誌社から広告のアプローチもあつたようですが、売りたい対象者と雑誌の読者との開きがあつたり等、費用対効果の面で効果が薄いと判断されたとのことでした。確かに、広告にはお金がかかります。

そこで、自社ホームページ内でプレゼント／無料サンプルを中心に活動するものとし、サンプルを使っていた方からの購入ならびに、口コミによる波及を販売戦略の方針にしました。つまり、「ホームページ閲覧」→「サンプル応募」→「サンプル使用」→「口コミ(拡大)」→「購入」→「リピータ獲得」の構図です。

ホームページといえば、すぐにSEO対策でホームページへの来訪者を増やすことに集中しがちです。

しかし、販売戦略(ターゲット市場、

広告方法、アプローチ方法)に合わせたホームページの作成・運営が一番重要であると筆者は考えています。

5. 統計分析情報の共有

紅屋さんとお話を何回も繰り返していき、ホームページの内容の検討を行っていきました。特に、4. 販売方針に基づいたホームページの構成になっているかという点を検討を進めるにあたり、「Google Analytics」のホームページアクセス解析を実際に使用しました。このサービスは無償で利用できるの、読者の方々も試すことができます。

| | 09/2/8~ 09/2/21 | 09/2/22~ 09/3/7 | 伸び率 | 備考 |
|----------------|--------------------|--------------------|--------|----------------|
| 「全体」のページ数 | 992 | 1099 | 110.8% | |
| 「トップページ」の参照数 | 207 | 317 | 153.1% | 参照が増えた |
| 「サンプルページ」の参照数 | 41 | 109 | 265.9% | サンプルへの誘導ができた |
| 「商品紹介ページ」の参照数 | 109 | 109 | 100.0% | 商品紹介までつなげるのは課題 |
| 「プレゼントページ」の参照数 | 28 | 74 | 264.3% | プレゼントへの誘導ができた |

Google Analyticsでは、来訪者が「アクセスしてきたページ」→「アクセスした滞在時間」→「アクセスした回数」→「どんなキーワードで検索してきたか」→「どこから来たか」→「どこからホームページから離れたか」などのデータを入手できます。したがって、このデータと想像力を組み合わせれば、どのようにホームページを変更すれば質の良いホームページができるかを考えることができます。



精油工房紅屋のホームページ

4. で述べた販売戦略のためには、「サンプル申し込みのページ」に誘導されなければなりません。短い期間での集計しか今のところありませんが、図のような結果になり、販売戦略に合ったホームページ構成に変わったことが見て取れます。

つまり、漠然と自分のホームページを検討するのではなく、仮説とデータに基づいてホームページを見ていくことが重要と考えます。これは、会社経営と一緒に計数的な見方も必要ということですが。

言うまでも無く、お客様のサンプル発送も増加しており、販売戦略通りに事が進むことを願っています。

6. 今後の連載

以上、初回ということ、導入経緯も含め長々と書いてしまいました。紅屋さんの、「非常にやる気のある点」、そして、「異業種からの本格参入」といったことから、読者の方々には関心をお持ちいただけたのではないかと思います。

ます。今後も、販売状況の推移と工夫点を追っつけながらレポートとして連載していきます。
是非、ホームページをご覧ください。また精油に興味・関心のある方は、サンプル申し込みをされてはいかがでしょうか。「鹿児島県内からのアクセスが急が増えた!」ということも次回の報告に書けるかもしれません(笑)。



☆筆者紹介☆

東中 益男 (Masuo HIGASHINAKA)

=資格=

ITコーディネータ、技術士(情報工学部門)

=所属=

特定非営利活動法人

ITかごしま支援隊 副理事長

〒892-0821 鹿児島市名山町4番3号

(株)鹿児島頭脳センター内

TEL: 080-3443-0812

URL: <http://www.itshien.org>

Mail: itksall@itshien.org

研究開発の現場

鹿児島県農産物加工研究指導センター

設置経緯と役割

農産物加工研究指導センターは、県内で生産される農産物の流通・加工技術の開発を通じて付加価値を高め、農家の所得向上と食品関連産業の活性化を目的として昭和62年に設置され、平成18年



鹿児島県南さつま市金峰町大野2200
鹿児島県農産物加工研究指導センター
加工開発研究室長 久米隆志
Tel: 099-245-1138

に農業開発総合センターの開所に伴い、現在の南さつま市金峰町に、新たに移転整備されました。

試験研究業務と併せて、食品関連企業に対して加工施設機器の開放による試作品開発等の助言・指導や食品加工等に関する情報の収集・提供、技術相談などの普及指導業務を行っています。

産官連携により商品化された商品の紹介

定温蒸気処理装置の開発

果実のみずみずしさをそのままに出荷できないかとの相談を農家から寄せられていたため、独自の技術で定温蒸気処理装置を開発しました。

農家の求めやすい価格で提供できる機械化を検討していたところ、県内で蒸熱処理機械のノウハウを持つ機械メーカー三州産業(株)と共同で開発に着手し、マンゴーに発生する炭疽病様黒色斑点症を予防する定温蒸気処理装置を開発し商品化されました。

定温蒸気処理装置は、面倒な操作や制御を必要とせず簡単な操作で

直ちに処理できる優位性があることから、農家の評判も良く、今後はマンゴーだけでなく温湯処理による病害虫防除が行われている柿や栗などのほか、殺菌によるイチゴの長期保存への応用など農産物の処理・活用が期待されています。



三州産業(株)と共同で開発された定温蒸気処理装置

さつま芋澱粉の食品用途の開発

さつま芋澱粉の食品用途の開発・拡大を目指していたセンターでは、澱粉を利用した麺の開発に着手、さつま芋の特性である血糖化指数の低さや調理のし易さを活かした日本で初めての「さつま芋も澱粉」の技術確立に成功しました。

この技術を基に、日本有機(株)が、食感も良く、調理しやすい加工食品である「さつま芋も冷麺」の商品化に成功、ヘルシー商品として注目を集め、平成20年度の安藤百福賞

を受賞しました。

さらに、(財)かごしま産業支援センターの協力を得て、国の地域産業資源活用事業計画に認定され、各種支援を受けています。

その他の開発事例

たんかんの殺菌工程において発生する加臭の抑制やたんかん特有の風味を活かした加工品の製造技術を確立し、民間でたんかんジュースの商品化に取り組んでいるほか、切り花の鮮度保持の技術を確立し、鮮度保持剤として「みずあげくん」を商品化しています。

また、さつま芋などの加工原料の大量・低コスト貯蔵技術の開発や、農産物の加工残渣や収穫残渣などバイオマスの有効利用技術確立の開発にも取り組んでいます。

センター施設の開放

加工施設機器の開放(オープンラボトリー)については年間延べ百件程度の使用件数があり、食品企業や農産物加工グループに加え、最近では起業を目指した方々の利用も増えています。農産物を用いた製品の開発や食品素材化、品質保持試験などに、ぜひ御活用ください。

食の安心・安全の確保について

(第6回)

鹿児島県生活衛生課

このコーナーでは、食の安心・安全を確保するための鹿児島県の取組を紹介いたします。

第6回目は、「食品の安全確保のための取り組み」について紹介します。

鹿児島県食品衛生監視指導計画

（食の安全確保をめざして）

この計画は、食品等事業者に対して、重点的、効率的かつ効果的な監視指導の実施を推進することにより、食品の安全性を確保し、県民の健康保護を図ることを目的として毎年策定しています。

計画策定に当たっては、広く県民の意見を反映するため、意見交換会の開催、インターネットや投書による意見募集を行っています。

計画の主な内容は、①監視指導の実施体制、②関係機関との連携の確保、③試験検査の実施体制整備、④重点的に

監視指導を実施すべき項目、⑤施設への立入検査、⑥食品等検査項目、⑦一斉取締の実施、⑧違反を発見した場合の対応、⑨情報及び意見交換の実施、⑩食中毒等健康危害発生時の対応、⑪食品等事業者による衛生管理の推進、⑫食品衛生に係る人材の養成及び資質の向上についてです。

また、中国産冷凍ギョウザ事件を例とする薬物中毒事案等への迅速な対応を図るため、食品等事業者は、医師の診断に基づく消費者からの健康被害に関する情報及び食品衛生法に違反する食品等に関する情報を、速やかに、保健所に報告することも定めています。

食品関係事業者の食品等の全確保に対する責任

食品安全基本法第8条及び食品衛生法第3条において食品等事業者の責務が規定されています。

県においても食品衛生法施行条例により、食品等事業者の「公衆衛生上講ずべき措置の基準」を定めています。

その基準の中で食品等事業者は作業場ごとに食品衛生責任者を定

め、食品衛生に関する知識を習得させ、衛生教育を実施することとされており、自主的な衛生管理の推進が求められています。

また、中国産冷凍ギョウザ事件を例とする薬物中毒事案等への迅速な対応を図るため、食品等事業者は、医師の診断に基づく消費者からの健康被害に関する情報及び食品衛生法に違反する食品等に関する情報を、速やかに、保健所に報告することも定めています。

その他食品衛生に関する具体的な内容については、最寄りの保健所に御相談ください。



鹿児島県の監視・検査体制

保健所(13箇所)

- ・施設に対する監視指導
- ・食中毒・苦情・違反食品等の調査・措置
- ・衛生教育の実施

生活衛生課

- ・監視指導計画、各種施策の策定及び公表
- ・関係機関との連絡調整
- ・県民への食品衛生に関する情報提供等

食品衛生監視機動班(4箇所)

- ・施設に対する広域的監視指導
- ・食品、添加物等の収去検査
- ・食中毒及び違反食品等の調査

食品衛生専門監視指導班

- ・県内一円の広域的監視指導
- ・輸出食品認定施設の監視指導
- ・食品、添加物等の収去検査

食肉衛生検査所(7箇所)

- ・と畜検査、BSE検査、食鳥検査、残留動物用医薬品等の検査
- ・と畜場、大規模食鳥処理場等の監視指導

保健所(13箇所)

- ・食品中の残留農薬等の検査
- ・食中毒発生時の食品等の検査

食品衛生監視指導計画については、県ホームページ（下記参照）で公表しています。

<http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/yakuji-eisei/syokuhin/index.html>

活用ください！ 鹿児島人材育成センター

企業の人材育成のために下記のとおり講座を実施しますのでご利用ください。

| 区分 | 分野 | 講座 | 講座名 | 期間 | 日数 | 定員 | 金額 | |
|--------|----------|----|-----------------------------------|-------------|-------------|----|--------|--------|
| 管理技術講座 | 社員教育養成訓練 | 1 | 新入社員 | 4/20～4/21 | 2 | 20 | 7,000 | |
| | | 2 | 中堅社員 | 10/20～10/21 | 2 | 20 | 10,000 | |
| | | 3 | 管理・監督者(基本)研修 | 6/23～6/24 | 2 | 20 | 10,000 | |
| | | 4 | 管理・監督者(エリア・マーケティング・マネジメント)研修 (新規) | 10/6～10/7 | 2 | 20 | 15,000 | |
| | | 5 | 管理・監督者(創造的マネジメント能力開発)研修 | 11/17～11/18 | 2 | 20 | 10,000 | |
| | 生産管理技術 | 6 | QCサークルリーダー | 5/15～6/5 | 4 | 20 | 8,000 | |
| | | 7 | 生産管理基礎 | 7/17～7/24 | 2 | 20 | 7,000 | |
| | | 8 | QC手法実務 | 8/21～9/11 | 4 | 20 | 10,000 | |
| | | 9 | IE(生産工学)手法実務 | 10/2～10/23 | 4 | 20 | 12,000 | |
| | | 10 | TPM(設備保全) | 10/26～10/27 | 2 | 20 | 15,000 | |
| | | 11 | ISO9001(2008年版)基礎 | 6/2 | 1 | 20 | 5,000 | |
| | | 12 | ISO14001(2004年版)基礎 | 7/7 | 1 | 20 | 5,000 | |
| | | 13 | ISO9001内部監査員養成 | 第1回 | 6/16～6/17 | 2 | 20 | 20,000 |
| | | 14 | | 第2回 | 11/10～11/11 | 2 | 20 | |
| | | 15 | ISO14001内部監査員養成 | 7/21～7/22 | 2 | 20 | 20,000 | |
| | | 16 | ISO22000システム構築と内部監査員養成 | 9/8～9/9 | 2 | 20 | 20,000 | |
| 技術講座 | 食品 | 17 | 食品加工衛生管理技術講座 | 10/15 | 1 | 20 | 6,000 | |
| | 機械 | 18 | 機械加工技術基礎講座 | 5/19～5/27 | 4 | 10 | 12,000 | |
| | エレクトロ | 19 | エレクトロニクス技術講座 | 6/9～6/11 | 3 | 10 | 8,000 | |
| | マイクロ | 20 | 制御基礎講座 | 9/16～9/18 | 3 | 10 | 10,000 | |
| | | 21 | アクチュエータ講座 | 11/26～11/27 | 2 | 10 | 7,000 | |
| | パソコン | 22 | 初めてのパソコン講座 | 第1回 | 5/11～5/26 | 8 | 20 | 7,000 |
| | | 23 | | 第2回 | 9/7～9/17 | 8 | 20 | |
| | | 24 | パソコン基礎講座(昼間) | 7/27～7/29 | 3 | 20 | 7,000 | |
| | | 25 | パソコン基礎講座(夜間) | 9/28～10/8 | 8 | 20 | 7,000 | |
| | | 26 | 初級者のワード講座 | 6/22～7/1 | 6 | 20 | 7,000 | |
| | | 27 | 初級者のエクセル講座 | 第1回 | 7/13～7/23 | 6 | 20 | 7,000 |
| | | 28 | | 第2回 | 2/22～3/3 | 6 | 20 | |
| | | 29 | 初級者のホームページ作成講座 | 6/1～6/4 | 4 | 20 | 4,000 | |
| | | 30 | プレゼンテーション基礎講座 | 8/3～8/5 | 3 | 20 | 4,000 | |
| | | 31 | デジカメ活用講座 | 10/26～10/29 | 4 | 20 | 4,000 | |

受講申込み、問い合わせ先

鹿児島県人材育成センター

〒899-4332 霧島市国分中央3丁目44番36号

電話:0995-47-3090 FAX0995-46-4413

URL: http://www.kric.or.jp/s_jinzai/top.html

中小企業活性化サポート事業が始まりました!

(財)かごしま産業支援センターでは、鹿児島県からの委託により平成21年4月1日から「中小企業活性化サポート事業」を開始しました。

この事業は、地域資源の活用や農商工連携など異分野の産業間での連携による新たな取組に的確に対応するため、県内の中小企業から直接、企業の現状、異分野の産業との連携の可能性などについて聞き取りを行い、県及び(財)かごしま産業支援センターにおける今後の施策に反映させるものです。

今後、県内の中小企業を「中小企業サポーター」が訪問しますので、訪問時にはご協力をお願いいたします。

◆中小企業サポーター

私達が訪問しますので、よろしくお願いいたします。

●問い合わせ先●

TEL.099-219-1272



おこひら
大河平孝子サポーター



内野加奈子サポーター

県内中小企業への研究開発資金助成のご案内

☆募集期間 平成21年4月1日(水)～5月15日(金) ☆採択 平成21年6月下旬予定

| 事業名 | 事業内容 | 募集対象 | 事業期間 | 助成率 | 助成額 |
|----------------|--------------------------------------|--------------------|-------|------------|-----------|
| 1 研究開発助成事業 | 研究開発型企業等が行う、新技術・新製品等の開発・試作 | 県内中小企業 | 単年度 | 総経費の2/3以内 | 300万円以内 |
| 2 地域技術起業化助成事業 | 地域の4社以上の中小企業者等のグループが行う、新技術または新製品の起業化 | 県内中小企業 | 単年度 | 総経費の8/10以内 | 300万円以内 |
| 3 重点業種研究開発支援事業 | 自動車、電子、食品関連産業に関する新技術、新製品の開発 | 県内中小企業 | 2年度以内 | 総経費の2/3以内 | 400万円以内/年 |
| 4 事業化研究会支援事業 | 大学等の研究シーズをもとに、その事業化を目指す産学官の連携による研究会 | 県内中小企業と、大学や公設研究機関等 | 単年度 | 全額助成 | 20万円以内 |

申請書はかごしま産業支援センターのホームページ (<http://www.kric.or.jp>) からダウンロードできます。

◆問い合わせ先◆

(財)かごしま産業支援センター
産学官連携課：TEL099-214-4770 E-mail: sangaku@po.kric.or.jp

「かごしま産業おこし挑戦事業」応募者募集

独立行政法人中小企業基盤整備機構の地域中小企業応援ファンド事業を活用し、財団法人かごしま産業支援センターに「かごしま産業おこし挑戦基金」を設置して、その運用益により下記の助成を行います。

この基金は、本県の自動車・電子・食品関連の戦略的産業振興分野及び地域資源活用分野に係る中小企業の新事業創出の取組みを支援するものであり、今回、平成21年度に実施予定の事業に対する公募を行います。

- 1 募集期間 平成21年4月1日（水）～5月15日（金）
- 2 募集事業の内容

| プログラム名 | 中核的企業創出プログラム | 地域資源活用促進プログラム | |
|--------|--|--|--|
| 事業名 | ① 中核的企業創出プログラム事業 | ② 地域資源活用起業家支援事業 | ③ 地域資源活用新事業創出支援事業 |
| 対象者 | 鹿児島県内に主たる事業所を有し、自動車、電子、食品関連の事業を行う中小企業者 | 鹿児島県内において地域資源を活用し、商品・サービス開発や研究開発を行い、起業を目指す個人又は個人のグループ、新たに地域資源で起業を目指す鹿児島県内の中小企業者等 | 鹿児島県内に主たる事業所を有し、地域資源を活用して事業化を行おうとする中小企業者等 |
| 対象事業 | (1) 経営計画作成等支援事業 (2) 経営計画実施支援事業 ア 研究開発助成事業 イ 人材育成事業 ウ 専門家招へい事業 エ マーケティング支援事業 | 起業に向けた事業展開及び研究開発、試作品開発、販路開拓等 | (1) 新技術、新製品の開発 (2) 試作品の製造 (3) 製品の付加価値化 (4) 生産設備の開発 (5) 販路開拓 (6) その他鹿児島県内の地域資源活用に資する活動 |
| 対象経費 | 謝金、旅費、原材料費など(事業により異なりますので、当センターのホームページをご覧ください。) | 原材料費、建物・構築物費、機械装置・工具器具装置費、事務費など | 原材料費、構築物費、機械装置・工具機械費、外注加工費など |
| 助成期間 | 5年間継続可能 | 2年間継続可能 | 1年以内 |
| 助成率 | 経費の3分の2以内 | 経費の3分の2以内 | 経費の3分の2以内 |
| 限度額 | 経営計画策定事業は300万円 経営計画実施事業は650万円 | 1件につき500万円 | 一研究開発等につき300万円 |
| 応募方法 | 申込書及び事業計画書提出 | 同左 | 申請書及び事業計画書提出 |
| 担当課等 | 経営支援室 | 新産業育成課 | 新産業育成課 |

※地域資源など詳細については、財団法人かごしま産業支援センターのホームページを御覧ください。

<http://www.kric.or.jp>

- ◆問い合わせ先◆ (財)かごしま産業支援センター
 新産業育成課：TEL099-219-1272 E-mail: ikusei@po.kric.or.jp
 経営支援室：TEL099-219-1273 E-mail: keiei@po.kric.or.jp

受発注情報

当センターでは、仕事を発注・受注したい企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引の紹介あっせんを行っております。今月は、下記の企業から発注の申し込みがきておりますので、あっせんの御希望がありましたら御連絡ください。

また、センターのホームページでも御覧いただけます。（URL : <http://www.kric.or.jp>）

◆発注情報

| No. | 所在地 | 発注品目 | 数量 | 加工内容 | 発注条件 | | 有効年月日 |
|-----|-----|-------------------|----|------|--|--------------------------|----------|
| | | | | | 必要設備 | 材料 | |
| 1 | 岐阜県 | カム関係、歯研ギア、特殊カッター軸 | 単品 | 機械加工 | 多軸マシニングセンター 歯研加工機、カム研加工機 ※単品加工の得意な企業 | SCM440 SKH51 SKD11 | H21.5.31 |

1 平成21年度下請振興事業のご案内

平成21年度のビジネス支援課の事業概要を紹介いたしますので、積極的な御利用をお願いいたします。

◆取引の紹介あっせん

仕事を「発注したい」・「受注したい」企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引先の紹介や各県支援機関との連携による広域的な紹介あっせんを行います。また、各企業の希望に応じた紹介・あっせんを円滑に行うために、当センターへの登録手続きをお願いします。

なお、取引の紹介・あっせんは全て無料です。

◆販路・取引先開拓支援

中小企業を対象として開催される見本市への本県中小企業の出展を支援し、加工技術・製品開発力を広く紹介するとともに、販路及び新規取引先開拓の機会を提供します。

また、発注企業と本県受注企業による個別商談会を県外で開催するとともに、県単独の商談会を鹿児島市内で開催するなど、本県中小企業の新規取引先の開拓を支援します。

(1) 広域商談会（現地商談会）

開催日：平成21年12月頃（予定）

開催場所：関西地区（予定）

(2) 鹿児島県取引情報交換面談会

開催日：平成22年2月（予定）

開催場所：鹿児島市内

◆各種情報の収集・提供

専門調査員が県内企業を訪問し、発注・受注案件や各種情報等を収集・提供するほか、中小企業が抱える技術、生産管理、新規取引先の開拓等の諸問題に対する適切な助言を行います。

また、受発注情報に関する調査を定期的に行い、当センターのホームページや情報誌「KISC」で受発注案件を提供します。

◆取引適正化の推進

下請取引改善講習会の開催や情報誌「KISC」での情報提供等により、下請関連法令（下請代金支払遅延等防止法・下請中小企業振興法）の普及・啓発に努め、トラブルの未然防止と取引の適正化を推進いたします。また、中小企業の取引上のさまざまな悩みや相談ごとに親身に対応するために、下請かけこみ寺を設置し、下請法や中小企業の取引問題に知見を有する専門家が適切なアドバイス等を行います。

○その他

- ・九州合同発注開拓調査（年2回、6・11月に実施、調査発注企業約1,500社）
- ・登録企業概要調査（平成21年11月調査予定）・登録企業名簿（平成22年3月発行予定）
- ・情報誌「KISC」（毎月1回発行）
- ・取引あっせん効果分析調査 他

【お問合せ先】 (財)かごしま産業支援センター ビジネス支援課
TEL : 099-219-1274 FAX : 099-219-1279 E-mail : business@po.kric.or.jp

上野原ビジネスプラザ・インキュベーターの御案内

当センターの上野原ビジネスプラザでは、起業家や新たな事業分野への展開を目指す中小企業の方々に、24時間無料でインターネット接続サービスが利用できる快適で低廉な料金のインキュベーターを用意し、皆様の入居をお待ちしています。

- ・インキュベーター 22室（平成21年4月1日現在5室が空室）

面積：31.5㎡～111.15㎡

月額使用料：49,612円～131,853円（敷金不要）

なお、創業5年未満の企業については、使用料の減免があります。

所在地：霧島市国分上野原テクノパーク4-30



■問合せ先■（財）かごしま産業支援センター 上野原ビジネスプラザ

〒899-4317 霧島市国分上野原テクノパーク4-30

TEL：0995-45-3511 FAX：0995-48-5270 E-mail：gyoumu@po.kric.or.jp

「かごしま企業情報」への掲載の御案内

当センターでは、県内中小企業の情報発信の充実と検索等の利便性を図ることを目的に、当センターのホームページ上に「かごしま企業情報」を構築し、掲載企業の募集をしています。

インターネットを使用しての登録・更新が可能で、登録企業側の操作もしやすくなっています。

一社でも多くの企業に掲載していただければビジネスチャンスの拡大に繋がることが期待されます。掲載料は無料ですので、お気軽に御登録ください。



■問合せ先■（財）かごしま産業支援センター 情報支援課

〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 鹿児島県産業会館2階

TEL：099-219-1275 FAX：099-219-1279 E-mail：info@po.kric.or.jp

センターホームページ「KISCネット21」の御案内

センターのホームページを御覧になったことがありますか？

こんなメニューがあります。

- ・センター・関連機関からのお知らせ
- ・ニーズ別に制度や業務相談窓口の紹介
- ・センターの調査物・刊行物の紹介
- ・ビジネスに役立つお勧めサイト など

ぜひ、御覧ください！！ URL：<http://www.kric.or.jp/>



■「情報KISC」の今月の表紙■

今月の表紙は、第8回かごしま産業技術賞特別賞を受賞された

アース化研株式会社 代表取締役 松若讓二

さんです。

アース化研株式会社

所在地：薩摩川内市宮崎町2052

TEL：0996-20-5935

URL：<http://earth-kaken.com/>

情報KISC 4月号

発行者：財団法人かごしま産業支援センター

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL 099-219-1270（代表）

FAX 099-219-1279

E-mail kisc@po.kric.or.jp

URL <http://www.kric.or.jp>